

えを、うまく表現する能力を有していなければならない。

### 剣道の道歌

- 「修身」 剣道は打ち、突き、する業なれば、礼儀正しく、行儀よろしく。
- 「技」 とる竹刀のにぎり調子は柔かに、しめず、ゆるめず、小指はなさず。
- 「稽古」 取立は上手の者を打つよりも、うたれ上手になるがむずかし。

### あとがき

- 懸案の10周年記念行事を無事盛會裡に終えて早や3月、息つく間もなく昇段、昇級審査、対外試合と続き、今年も間もなく納会を迎えようとしています。
- 記念大会には、参加下さった各剣道教室、南区剣道連盟の諸先生方から賛辞を頂戴しました。これは、もとよりご支援下さった父兄皆様のお陰と心から感謝致し、誌上を借りてお礼申し上げます。
- この号では特に合頼先生から「初心にかえろう」との寄稿を載せました。私共役員一同、将に「初心」にかえって宮竹少剣発展を期したいと念願しております。
- 先日の昇級審査で今年入部したことも達も防具をつけることになりました。どの子も新しい防具をかかえて頬が紅潮しています。ご父兄の皆様も是非けい古を見に来て下さい。  
(石田)

# 宮竹少剣

昭和55年12月 1日

才35号

宮竹少年剣道クラブ育成会

## ★ 創立10周年記念親善少年剣道大会 盛會裡に終る 第10回合瀬杯争奪剣道大会

去る8月3日(日) 宮竹少年剣道クラブ主催、南区剣道連盟後援による、創立10周年記念行事が盛大に行われました。雨の多い異常気象の夏でしたが、当日は晴天に恵まれ、午前の部で才10回合瀬杯争奪大会、午後の部で、南区内の剣道教室10団体36チームが参加して、熱戦が繰り広げられました。

大会には、特に顧問として福岡市剣道連盟会長玄光先生、南区剣道連盟会長池田先生、同理事長深見先生、校区内では谷公民館長始め多数来賓のご出席を戴き、盛會裡に終了することができました。

### ★ 第10回合瀬杯大会の結果は次のとおりです

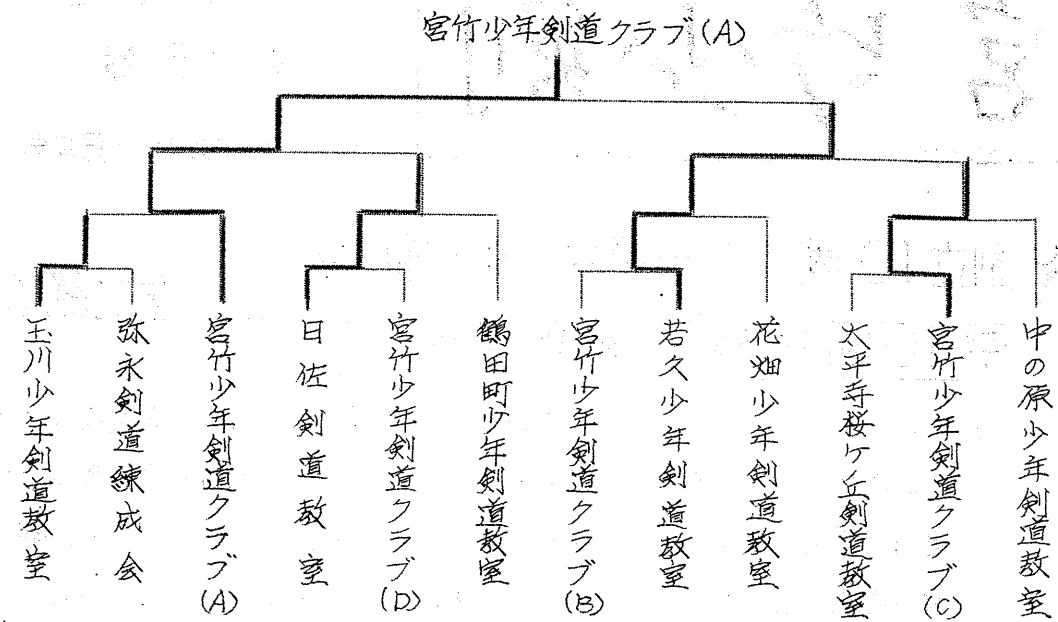
	優勝	準優勝	才三位	
小学年	野村 良祐	西村 明良	相田 法子	山崎 一
中学年	神代 俊二	荒尾 忠嗣	上山 浩司	下司 昭人

### ★ 創立10周年記念親善大会

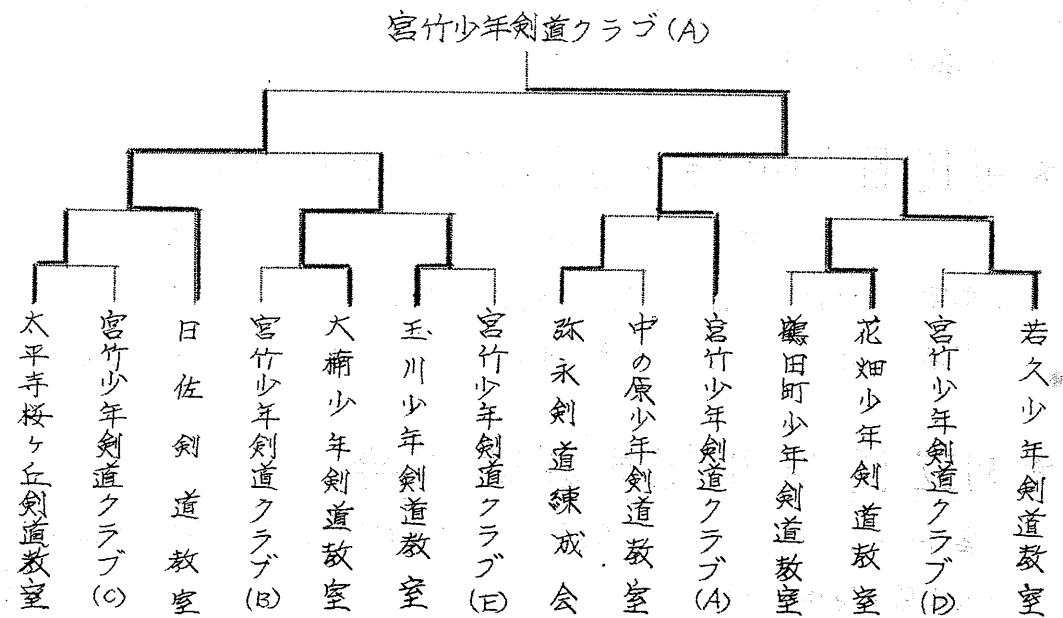
宮竹チームは各パートとも善戦し、小学生低学年の部、高学年の部ではいづれも見事優勝しました。

戦績は次のとおりです。

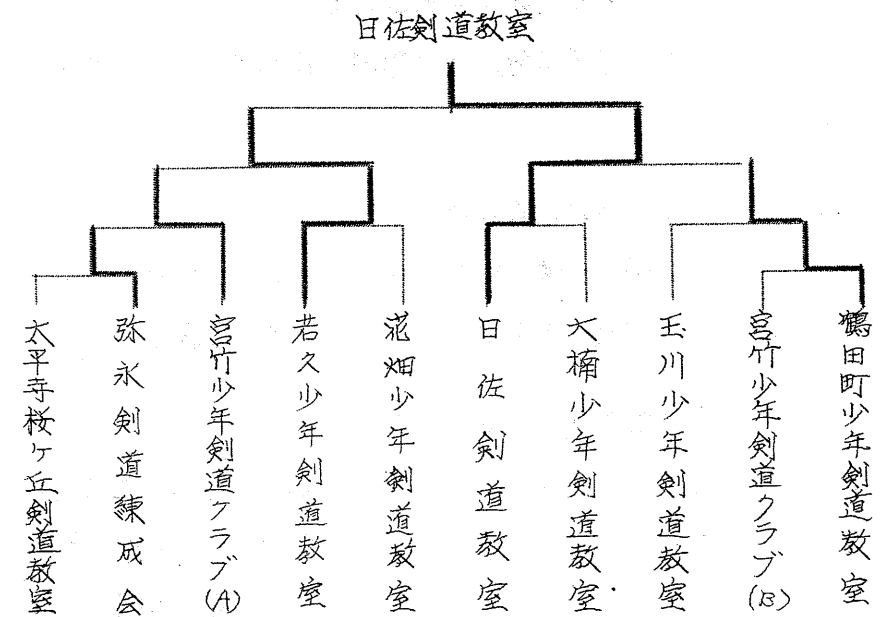
〔小学生低学年の部〕



〔小学生高学年の部〕



〔中学生の部〕



★対外試合の経過

- ★ 第16回王竜旗争奪少年剣道大会参加  
8月16日(土) 九龍記念体育館にて開催され、小中各1チーム出場。
- ★ 第7回全日本少年剣道優勝大会参加  
9月14日(日) 福岡市民体育館にて開催され小学生低学年、高学年各1チーム出場。
- ★ 第8回南区剣道祭  
9月23日(祭) 玉川小体育館、小学生35名、中学生14名、高校生1名が参加しました。

★ 福岡如水館創立5周年記念少年剣道大会

9月28日(日) 福岡武道館にて開催され小学生、中学生各ノチームが  
出場しました。

★ 護国神社秋季大祭奉納武道大会

10月10日(祭) 護国神社境内。小学生、中学生各ノチームが参加  
し、小学生は3回戦、中学生は2回戦まで進み善戦しました。

★ 日佐少年剣道教室創立10周年記念大会

10月26日(日) 日佐小体育館に於て南区内の剣道教室ノ2団体が  
集まり開催されました。小学生低学年、高学年、中学生の部に各ノチー  
ム出場し、小学生低学年の部と中学生チームが良く健闘し、ともに準優  
勝の栄に輝きました。

★ 2段3名、初段3名合格

福岡地区剣道昇段審査会が、去る8月31日(日)福岡武道館で行われ  
ました。宮竹少剣から2段3名、初段3名受審、次の6名が見事合格  
しました。尚2段合格の3名は当剣道クラブのOBで、現在高校1年  
在学中の先輩です。

2段 大洲隆一郎、石村和生、小林治仁

初段 赤司二郎、古館慎一、福島恵子

★ 宮竹少剣昇級審査行なわれる

宮竹少剣で実施する4級～7級の昇級審査が去る11月9日(日)に行  
なわれました。初めて昇級審査を受ける鉢巻組と5級までの防具組37  
名が元気いっぱい受検し次の剣士が合格しました。

なお、今回の審査から審査基準が厳しくなりました。これは、近年剣  
道のレベルが全般的に向上したことに伴い、当剣道クラブとしても級の位  
置づけを厳格にし、真にその級に相応しい者を選ぶことにした結果による  
ものです。

審査の先生 合濱先生、亀井先生、石田先生、赤司先生、白銀先生

- 4級 — 遠藤正信、香川飛宏、徳和目宗弘、相田篤、飯田政行  
中村英幸
- 5級 — 増元由紀大
- 6級 — 森田司、熊井孝英、糸井理、木下雅仁、世理仁、那須典明  
原田宗司、吉川紀子、渡辺展弘、那須大輔、樋渡崇裕  
宗像日登信、下村享、吉永圭
- 7級 — 上真一、松本真世、八木秀倫

[参考]

級位	受検者	合格者	合格率	
5級から4級	16名	6名	38%	
6級から5級	4	1	25	
8級から	17	6級	14	82
		7級	3	18

## ★創立十周年大会を終え「初心」にかえろう

宮竹少年剣道クラブ 師範 教師七段 合 瀬 藤 雄

技と共に、礼と、信と、誠を、もとめる剣道を皆さんと共に学び早くも11年の歳月が去り、10年という一区切が達成出来、宮竹少年剣道クラブの文派な1ページが築かれたことを光づ皆さんと共に喜ぶたいと思います。

この文派な1ページの続きがすでに始動して居りますが、このスペース確立に肝要なことは今迄同様、役員父兄と指導者との自制力を有する連携プレーではないかと思ひます。そこで10周年を機に全員が今一度「初心」にかえり15、20周年と大きな足掛りを作り上げようではないですか。

私も指導者の一員として「剣道の理念＝剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」にもとづき、初心にかえり深く自省し指導者としての道格者になりたいものだと思ふものです。

ここに、剣道の目的、上達の要点、指導者としての心構え、等について列記して見ることにします。

### 「剣道の目的について」

剣道は刀剣使用の技術を錬磨するため起ったもので、常に相対している相手の動作を幾微の間にも見て取って直ちに、これに応じて千変万化の動作をなさなければならないので、絶えず注意力を集中し、敏鋭なる判断を下すことを要し、その運動は全身的で、極めて微妙である。故に剣道は心身両面の鍛錬を主要な目的としている。

### 「剣道上達の要点について」

#### 1. 数多く練習する

理論に逼るとも練習の結果、身体の運用がこれに伴わなければ空理、空論となって何等の価値もない。「人文を10度すれば、てこれを百度す

る」の覚悟で始めて上達するもので、1日休めば1日後退するものだと思うことである。

#### 2. 打たれて強くなる

下級者は常に自分より上級者に対し、打たれ、突かれ、外され、などされ苦しんでいるうちに次第に自分の欠点、隙などを防禦し身を守る力が自然に備わってくると共に、相手の隙も、自ら観えるようになるものである。故に下級者は人に先んじて、上級者に稽古をつけて貰うことを忘れてはならない。このような心掛けで稽古している者は、常に進歩しているものである。上級者に掛り稽古することは、極めて苦しいものである。然し、この苦しみの大きければ、大きい程、自分の上達も大きいということを感じて努力精進することが大切である。

#### 3. 健康管理に注意する

何事によらず健康でなければ成功することは不可能である。まして剣道のように只単に、技術のみの追求でなく、精神面の探求と表裏一体をなして錬磨されるものは、他のものと比べて非常に厳しいものがある。剣道を修行するものは、その初心を徹するためには、常に暴飲暴食を慎み睡眠を充分に取り、使用の防具、竹刀などは完備し、衣袴は清潔にして、体調を整え、いかなる厳しい鍛錬にも耐え得るように平素力を蓄積して置かなければならない。

### 「指導者としての心構えについて」

1. 剣道の意義、目的、価値などの本質的なものを良く理解し、常にその対象に合致した指導と、自己の人格を磨くと共に常に剣道の技術、形などの向上に心懸け精進すること。

2. 指導者は自制力を有し、気永き忍耐で同様の態度を持ち続ける心要があり、すべての部員に対して公平でなければならない。

控え目で極めて公明で表裏ないことが大切であり、「和の人で」自己の考